

4 愛知県がんセンターの概要(所在地:名古屋市千種区鹿子殿1番1号)

外観・配置図:



土地・建物(2024年4月1日現在):

区 分		延床面積	竣工年
土 地		49,788 m ²	—
建 物	合 計	69,580 m ²	—
	病棟	28,663 m ²	1992
	特殊放射線・中央診療棟	12,275 m ²	1991
	国際医学交流センター・外来棟	7,203 m ²	1994
	化学療法センター棟	1,993 m ²	2013
	研究所棟本館	7,113 m ²	2002
	研究所棟北館	3,244 m ²	1983
	生物工学総合実験棟	2,116 m ²	1988
	保安公舎	314 m ²	—
	立体駐車場	6,312 m ²	1995
	その他	347 m ²	—

開設日	1964年12月 ※癌研究会、国立がんセンターに続き、日本で3番目、地方公共団体としては初めての病院と研究所を併せ持つ「総合がんセンター」	
診療科目	27 診療科 ※消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、婦人科、脳神経外科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、眼科、皮膚科、循環器内科、感染症内科、歯科、緩和ケア内科、腫瘍精神科	
病床数	500 床	
職員定数	781 人(2024年4月1日現在)	
機能	都道府県がん診療連携拠点病院(2007年1月～) ※全国どこに住んでいても均しく高度ながん医療を受けることができるよう、緩和ケアチーム、相談支援センターの設置等が義務付けられた厚生労働大臣が指定する、都道府県に概ね1箇所の病院	
	がんゲノム医療拠点病院(2019年9月～) ※がんゲノム医療のための遺伝子パネル検査の医学的解釈を自施設で行うことができると国が認めた病院で、このことができるのは県内では愛知県がんセンターと名古屋大学のみ	
	特定機能病院(2022年12月～) ※高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力等を備えているとして厚生労働大臣が個別に承認した、大学病院本院を始めとした全国88病院で、がんセンターとしては全国6病院(愛知県がんセンター、国立がん研究センター中央病院、国立がん研究センター東病院、がん研究会有明病院、静岡がんセンター、大阪国際がんセンター)	
診療状況 (2023年度)	外来患者延数	142,818 人
	入院患者延数	121,854 人
	外来化学療法件数	27,859 件
	手術数	3,384 件
	内視鏡治療件数	1,488 件
	治験数	245 件
研究状況 (2023年度)	公的研究費獲得額	517,466 千円
	英語論文数(査読のある雑誌に掲載のもの)	93 本
	特許登録件数	10 件
経常損益 (過去5年)	2019年度 93,136 千円 2020年度 501,178 千円 2021年度 1,025,445 千円 2022年度 △711,559 千円 2023年度 323,396 千円	